

合奏団 “京浜東北線の世界” 演奏会

WKT

2005年9月24日（土） 19:00 開演

横浜みなとみらいホール 小ホール

指揮：岩本 弦

.....

program

ヤナーチェク 弦楽のための組曲

ヤナーチェク 弦楽四重奏曲第1番「クロイツェル」

休憩（20分）

モーツァルト 交響曲第39番 変ホ長調 K543

弦楽四重奏： 1st Violin 安西 淳 2nd Violin 大隈 美樹
Viola 大久保 智子 Violoncello 岩本 弦

.....

ごあいさつ

本日はお忙しい中、私たち「合奏団・京浜東北線の世界」の演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。当団では、自分たちならではの音楽作りを目標に、小編成の合奏曲を年一回の演奏会に向けて練習を続けております。今回は、もはや当団の定番となったモーツァルトの交響曲に加え、前半はヤナーチェクに挑戦します。今宵、対照的な2つの世界をどうぞお楽しみください。

演奏曲目の解説

♪ ヤナーチェク「弦楽のための組曲」

ヤナーチェクは現在のスロバキア、モラビア地方に生まれたドボルザークより13才若い作曲家です。ドボルザークとも親交があり、ともに貧しい庶民階級の出身であり、かつ天才同士非常にウマがあったようです。しかし作風は全く異なっており、ドボルザークがチェコ、スラブ民族の歌に根ざしながらも洗練を重ねて、ブラームスに匹敵する国際的な評価を得たのに対し、彼は生まれ育ったモラビアにこだわり、歌劇「イエヌーフア」で大成功を収めるまで苦難の道を歩みました。この組曲は21歳、1877年の音楽教師時代に作曲されました。そして初めて器楽曲にチャレンジした曲です。もともとは6つの楽章にプレリュード、アルマンド、サラバンド、スケルツォ、エア、フィナーレといった舞曲のタイトルがあったそうです。初期の作品なので、後期ロマン派の音、ドボルザーク、ワグナーの響きなどここに聞こえてくるのですが、旋律、響きは弾く者の感情に強く訴えかけて来ます。

♪ ヤナーチェク「弦楽四重奏曲第1番《クロイツェル》」

つねに情熱の対象を追い求める彼は、60歳を越えた晩年にジプシー女性に激情を覚え、生涯で700通を超えるラブレターを書き続けました。この情熱に駆り立てられて彼の筆は衰えを知らず、その中でこの曲を含む2曲の弦楽四重奏曲が生まれたのでした。文豪トルストイのクロイツェルソナタによるこの曲は、モラビア民謡の旋律と言葉のイントネーション、リズムが見事な形で音楽に昇華された彼の最高傑作の一つです。70歳を前にした1923年に10日あまりで作曲されたとあります。4度、5度音程の響きが多用され、そこに溢れる独特なスラブの香りと強烈な憧れ、即興性は特筆に価します。難解な曲と思われがちですが、4つの楽章は簡素ですっきりと書かれており、聞きやすい作品になっています。そして彼は最後に、この女性のもとで息を引きとったのでした。

これらヤナーチェクの解説は日本ヤナーチェク協会のHPを参考にさせて頂きました。

♪ モーツァルト「交響曲第39番」

当団もお陰さまで、この39番をもって後期の3大交響曲を締めくくります。偉大な40,41番と比べて演奏機会の少ない39番ですが、最も独創性に富んでいるとともに、次世代への架け橋になった交響曲です。最大の特徴は歌、メロディーです。この曲の第2楽章はモーツァルトの「白鳥の歌」として愛でられ有名ですが、彼の交響曲で初めての試みは、第1楽章アレグロの第1主題がなだらかな歌で出来ていることです。この特徴をもつ第1楽章は、続く管のファンファーレの輝かしさ、調性も含めてベートーベンの英雄交響曲へと繋って行きます。また第4楽章では同じ動機が驚くばかりの多様性の中、何度も繰り返されます。この楽章の激しい動機の繰り返しは、将来のベートーベンの第7交響曲の第4楽章を予感させます。しかし、弾いていて心から感動する瞬間は2楽章に訪れます。管楽器の4度でのカノンの後に現れる、弦とホルンによる豊かな全奏。主和音の次にサブドミナント（5度下の和音）が鳴るときの幸福感は至上のものです。モーツァルトがいかに生を謳歌したか分る瞬間です。そして2楽章の歌謡性と大胆な転調は、シューベルトの世界へと引き継がれたのでした。

メンバー紹介

みんなの声を元に作った自己紹介。合奏団“京浜東北線の世界”こんな人達で構成されています！

♪ 1st Violin

- | | |
|--------|--|
| 大隈 美樹 | 遠くから通い続けられるのは、おいしいご飯のおかげです。ありがとうございます。 |
| 井上 登志夫 | 今年で還暦を迎えました。若い人達の合奏に入れて頂いて元気が出ます。ありがとうございます。 |
| 成瀬 正啓 | 童心に還って。 |
| 高橋 実生 | 卒業5年目、母になってもオケが続けられて幸せ者です。皆ありがとう！ |
| 井上 明子 | 社会人2年目です。ヤナーチェクの東欧の雰囲気大好きです。 |
| 安西 淳 | 塾長-30年。 |
| 相本 朋子 | ボスと呼ばれています。 |
| 榎本 憲泰 | モーツァルト39番。弾いてみたかった交響曲ベスト1。思い残すことは何もありませんー！！ |

♪ 2nd Violin

- | | |
|--------|---|
| 大島 功士 | ワグを卒業して約四年。久々に一緒に演奏できて嬉しいです。 |
| 新井 梨紗子 | モーツァルト息切れしないように、がんばります♪ |
| 西方路 大輔 | 西の方向への路と書いて、さいほうじと読みます。 |
| 石橋 麗子 | 宇宙人と言われました。クリオネと言われました。びっくりしたのはウーパールーパーと言われたことです。人間らしくなりましょう。 |
| 菅原 章 | 1983年8月3日生まれ、獅子座です。出身は神奈川県です。好きな色は特にありません。 |
| 田中 直人 | 副将軍です。フックでも可です。 |
| 小松 篤司 | とりあえずビールで♪ |
| 鈴木 航介 | 中学時代は野球部、高校時代はバレーボール部、大学ではオーケストラ。こうして見ると、一貫性のない部活歴ですね（笑）。 |

♪ Viola

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 大久保 智子 | ふゆ。おおくぼです。 |
| 伊倉 亜美 | ボーナスで楽器大修理！のはずが車購入！！来年は・・・ |
| 小川 有沙 | 何気に団員歴長いかも…。毎回よい経験させていただいてます。皆様ありがとう！ |
| 廣嶼 雄彦 | ワグネルでは年配キャラでも、ここでは若い方のポジションなのがいいですね。 |
| 長野 真理 | そろそろ歳相応に見られたい、、、なあ |

♪ Violoncello

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 岩本 弦 | ヤナーチェクとの出会い…感動。 |
| 岩本 富美雄 | 34年ぶりにモーツァルトの39番に再会できました。感謝 |
| 綿引 聡史 | ひきこもりのニートです。 |
| 西田 光宏 | さりげなく初参加です。頑張ります！ |

♪ Contrabass

- | | |
|-------|------------------------|
| 飯嶋 悠介 | 家に帰るまでが演奏会のつもりでがんばります。 |
| 岡本 明久 | 特技は、スズメバチの駆除。 |

♪ Flute

山崎 陽子 京浜東北線のみなさまにはいつもお世話になっております。今年の四月に学生生活を終え、一人前の笛吹きをめざして長い道のりを出発いたしました。何かの折りにフルートが必要でしたら、いつでも呼んでください！フルートカルテットのご用命も随時受付中！です☆

♪ Clarinet

坂口 直史 オオマガリの先輩
大石 崇 坂口の友達。大曲の知り合い。

♪ Bassoon

飛世 理志 夏が終わってうれしいです
佐藤 葵 去年に引き続き2回目の参加です。

♪ Horn

志場 敬介 現役4年ではありますが京浜東北線の世界では3度目の演奏会になるので、頑張りたいと思います。
土田 大志 ウカウカしてます。

♪ Trumpet

斎藤 聡 トランペットがあるときは毎回参加していただいています。力強い音色をいつもありがとう。(飯嶋)
鈴木 淑子 同じく、さわやかな音色を加えていただいています。いつもありがとう。(井上)

♪ Timpani

立川 昌実 ぼんたと呼ばれています。ぼん多でもぼん太でもありません。

.....

次回の演奏会のお知らせ ～モーツァルト生誕250周年記念～ モーツァルト／『レクイエム』 合唱：楽友三田会合唱団 演奏：合奏団「京浜東北線の世界」 2006年秋頃予定
--

.....

合奏団“京浜東北線の世界”2005年演奏会

お問い合わせ：井上 akiko_clvn@hotmail.com

合奏団『京浜東北線の世界』とは、慶応義塾ワグネル・ソサィエティー・オーケストラのメンバーを中心として結成された合奏団です。

URL: <http://orchestra.musicinfo.co.jp/~wkt/>

このホームページは、クラシック音楽情報センター (<http://www.musicinfo.com>) より、サーバーの無償使用の提供を受けています。

.....

Special Thanks to 井上登志夫さん 井上幹子さん

いつもありがとうございます。